

2期熊本市中心市街地活性化基本計画（熊本地区） 【概要版】



平成26年3月

熊本市

～ 政令指定都市・熊本の「顔」にふさわしい 魅力と活力あふれるまちづくり ～

1 策定の目的

本市の中心市街地は、築城以来400年余りを迎える熊本城を核として、古くは肥後54万石の城下町として栄え、明治以降も様々な活動の中心地として市及び近隣市町村の拠点となってきました。

しかしながら、近年は小売業における商店数や年間販売額の減少、中心商店街における空き店舗率の上昇などがみられたため、平成19年3月に中心市街地活性化基本計画（1期）を策定し事業を実施してきた結果、熊本城入園者数が数値目標を大幅に上回る見込みであるなど、計画全体としては一定の効果を得ることができました。

加えて、「挑戦元年アクションプラン」においても、重要課題として「中心市街地の再デザイン」に取り組んでいるところです。

そのような中、本市は平成23年3月の九州新幹線全線開業、平成24年4月の政令指定都市移行という大きな転機を迎えており、これを好機としての確に捉えさらなる変貌を遂げるため、平成24年4月からの5年間を計画期間とする中心市街地活性化基本計画（2期）を策定し、政令指定都市にふさわしい「顔」づくりを推進するものです。

なお、この基本計画は、平成18年8月に施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき、平成24年3月に内閣総理大臣による認定を受けました。



2 中心市街地の現状・課題

(1) 中心市街地は、多様な都市活動の拠点

本市の中心市街地は、多数の商業施設や事業所に加え、美術館、博物館、ホール等の公共公益施設が数多く整備されています。

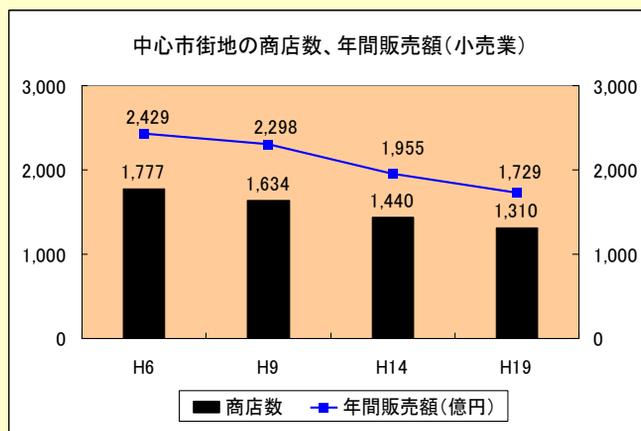
また、バスセンターや市電などの公共交通機関も整備されており、熊本都市圏の業務・消費などの日常生活のみならず、芸術・文化やレクリエーション活動の場となっています。



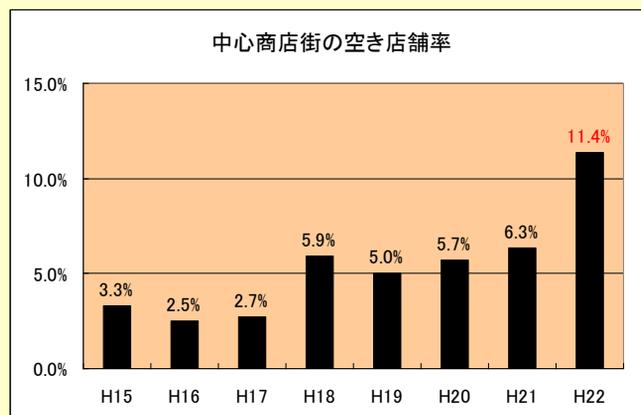
(2) 市街地の拡大と中心市街地の活力低下

少子高齢化が一段と進む中、モータリゼーションの進展、さらには、総合病院等の郊外移転や大規模商業施設の郊外立地など、市街地の拡大が進んできました。

中心市街地では、市街地再開発事業などの様々な施策や、商店街・市民団体等の努力により、一定のにぎわいは維持しているものの、小売業における商店数や年間販売額の減少、中心商店街における空き店舗率の上昇など、活力の低下が懸念されています。



(資料) 商業統計



(資料) 熊本市「空き店舗調査」

3 基本方針

1 人々が活発に交流しにぎわうまちづくり ～都市機能のさらなる集積と更新を図ります～

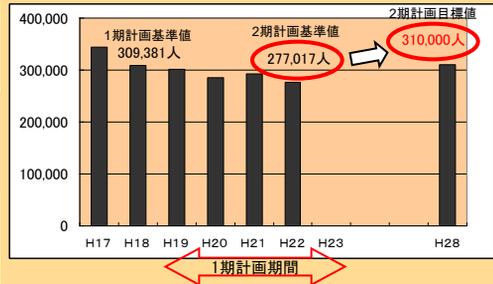
空き店舗の増加や市街地再開発事業の遅延等により、歩行者通行量が減少しており、都市機能のさらなる集積と更新が必要です。

- ・空き店舗対策
- ・通町筋・桜町周辺地区における市街地再開発事業等に取り組みます。

目標値310,000人/日
(平成28年度)

基準値277,017人/日
(平成22年度)

商店街歩行者・自転車通行量(平日・日曜の平均)



5年間で約4万人増加を目指します。
※1期計画の基準値約31万人(H18年実績)まで回復を目指します。

2 城下町の魅力があふれるまちづくり ～多くの人を引きつける魅力創出を図ります～

熊本城入園者数は、平成20年度をピークに減少しており、城下町と一体となった新たな魅力づくりが必要です。

- ・熊本城の復元整備
- ・城彩苑・美術館等の周辺施設との連携強化
- ・海外プロモーション活動等に取り組みます。

目標値2,000,000人/年
(平成28年度)

基準値1,440,355人/年
(平成22年度)

熊本城の年間入園者数



5年間で約56万人増加を目指します。

3 誰もが気軽に訪れることができるまちづくり ～公共交通網の整備を図ります～

ますます進展する高齢化や九州新幹線の全線開業による観光客増加等に対応した公共交通網の整備が必要です。

- ・市電の利便性向上(電停改良、他の公共交通機関との結節強化等)
- ・自転車利用環境の整備等に取り組みます。

目標値10,525,000人/年
(平成28年度)

基準値9,537,000人/年
(平成22年度)

市電の年間利用者数



5年間で約100万人増加を目指します。

4 計画期間

平成24年4月～平成29年3月 (5年)

5 計画区域及び主要事業について

人々が活発に交流しにぎわうまち

【29】空き店舗等総合活用事業

空き店舗等の利活用を進め、中心市街地の魅力や賑わいを創出する。



【3-1】花畑地区広場整備事業

花畑地区に広場を整備する。

【4-1,2】市街地再開発等事業(桜町地区)

広域的な公共交通ターミナルとしての機能強化など、商業・業務の拠点としての賑わいを創出する。

【5】桜町・花畑周辺地区まちづくり推進事業

桜町の再開発に面したシンボルプロムナードについて、まちなみ景観と利活用の2つの側面から検討を行い、整備を進める。

【2-1,2,3】熊本駅西土地地区画整理事業

公共施設の整備改善と宅地利用の増進を図るとともに、交流拠点性の高い中心市街地を形成する。

【13】暮らし・にぎわい再生事業(熊本駅前東A地区)

公益施設を含む複合施設の整備と公共的な屋外空間の整備を一体的に行い、人にやさしい都市環境の創出を図る。

誰もが気軽に訪れることができるまち



城下町の魅力があふれるまち



【48】熊本城第Ⅱ期復元整備事業

熊本の歴史・文化を象徴する熊本城を復元整備し、中心市街地と調和した都市空間の再生を図る。

【46】城下町の風情を感じられる町並みづくり事業

熊本駅と熊本城を結ぶ新町・古町地区において、市と地域が協働で町並みルールづくりや町屋の保存活用を行い、城下町の風情を感じられる町並みづくりを進める。



【51】電停改良事業

電停のバリアフリー化等により利用者の利便性を向上し、公共交通の利用促進を図る。

【50】超低床電車導入事業

超低床電車を導入することにより、利用者の利便性向上を図る。

【55】市電ロケーションシステム導入事業

市電の近接情報等を電停に設置したモニター等で確認できるシステムを導入する。

6 事業について

(1) 事業数

・計65事業

うち事業主体



行政 37事業
民間 12事業
行政及び民間 16事業

・2期から掲載の事業は 39事業 (備考欄の○印+◎印)

うち2期計画期間から新たに取り組む事業は 20事業 (◎印)

(2) 事業一覧

番号	事業名	本編P	基本方針①	基本方針②	基本方針③	備考	番号	事業名	本編P	基本方針①	基本方針②	基本方針③	備考
1-1	熊本駅周辺まちづくり推進経費	74	●				32	ブランド化推進協力店事業	90	●			◎
1-2	熊本駅周辺まちづくり推進事業	77					33	九州食品見本市(仮称)	91	●			◎
2-1	熊本駅西土地区画整理事業	74					34	農産物フェア開催事業	91	●			◎
2-2	熊本駅西土地区画整理事業(道路整備)	76	●				35	「夢未来みかん」祭り	91	●			○
2-3	地域創造支援事業(コミュニティセンター整備)	79					36	安全安心まちづくり推進事業	91	●			
3-1	花畑地区広場整備事業	74, 80	●			◎	37	産業支援サービス業等立地促進事業	91	●			
3-2	暮らし・にぎわい再生事業(花畑地区)	80					38	企業立地促進事業	92	●			
4-1	市街地再開発等事業(桜町地区)	75	●				39	自転車駐車場整備等補助事業	92			●	○
4-2	市街地再開発等事業(桜町地区)(商業等基盤整備)	89					40	市内中心部放置自転車対策事業	92	●			○
5	桜町・花畑周辺地区まちづくり推進事業	75, 80	●			○	41	違法駐車防止等啓発事業	92			●	○
6	JR鹿児島本線外1線連続立体交差事業	75	●				42	街なか花絵巻賑わい事業	92	●			◎
7	熊本駅周辺 街路事業	76	●				43	地下水都市熊本空間創出事業	97	●			
8	(仮称)銀座通り歩行空間整備事業	76	●				44	屋上等緑化助成事業	97	●			
9	白川緊急対策特定区画整備事業	76	●				45	市電軌道敷緑化事業	97	●			
10	新熊本合同庁舎の整備	77	●				46	城下町の風情を感じられる町並みづくり事業	98		●		○
11	熊本駅周辺都市機能誘導等推進事業	77	●				47	景観条例関連経費(景観重要・形成建造物)	98		●		
12	暮らし・にぎわい再生事業(熊本駅周辺地区)	79	●				48	熊本城第Ⅱ期復元整備事業	98		●		○
13	暮らし・にぎわい再生事業(熊本駅前東A地区)	80	●				49	熊本城石垣保存修理事業	98		●		
14	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)	82	●			◎	50	超低床電車導入事業	99			●	○
15	MICE(マイス)施設整備事業	81	●			◎	51	電停改良事業	99			●	○
16	博物館展示整備事業	81	●			○	52	熊本市自転車利用環境整備事業	99			●	◎
17	ジェーンズ邸の移築復元事業	82	●			○	53	くまもと安心移動ナビプロジェクト推進事業	99			●	
18	記念館改善計画事業	82	●			○	54	市電乗車券等の利便性・付加価値向上対策事業	100			●	
19	(仮称)新町地区総合福祉施設整備事業	83	●				55	市電ロケーションシステム導入事業	100			●	◎
20	熊本市民健康フェスティバル	83	●			○	56	市電車両りフレッシュ事業	100			●	◎
21	あんしん住み替え相談窓口事業	85	●			○	57	合同庁舎跡地利用事業	101		●		◎
22	マンション管理適正化事業	85	●			○	58	アジアンホリデー	101	●			○
23	住宅・建築物耐震改修事業	86	●			○	59	蔚山広域市との交流推進事業	101		●		
24	安全・安心で美しい熊本づくり事業	88	●				60	「わくわく企画」マンガ・アニメを生かしたまちづくり	101	●			○
25	中心市街地活性化ソフト事業	88	●				61	熊本城マラソン事業	102	●			○
26	(仮称)上通3・4・5丁目アーケードECO改修事業	89	●			◎	62	近代(明治)くまもと講座・現地見学・出版事業	102	●			◎
27	(仮称)下通新天街アーケード照明LED化及び路面改修事業	89	●			◎	63	花畑公園再整備事業	75	●			◎
28	(仮称)新市街路面改修事業	89	●			◎	64	優良建築物等整備事業(下通A地区)	81	●			◎
29	中心市街地空き店舗等総合活用事業	90	●			◎	65	銀杏通り路面改修事業	93	●			◎
30	中心市街地活性化推進事業(中心商店街等が連携したイベント等)	90	●				基本方針①：人々が活発に交流しにぎわうまちづくり 基本方針②：城下町の魅力があふれるまちづくり 基本方針③：誰もが気軽に訪れることができるまちづくり						
31	(仮称)中心市街地公衆無線LAN整備事業	90	●			◎							

平成26年3月発行

熊本市 都市建設局 都心活性推進課
農水商工局 商工振興課

TEL : 096-328-2111 (代表)